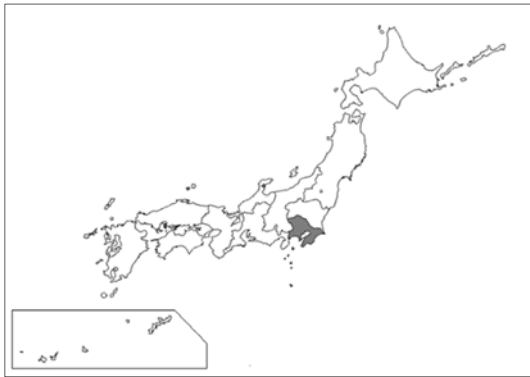


(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

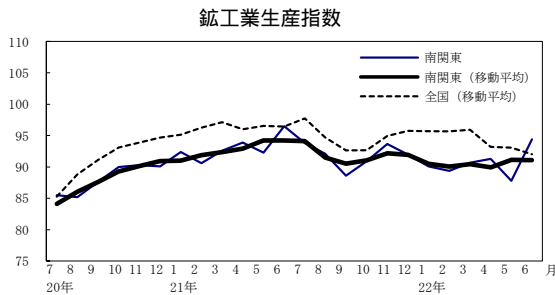
前回からの主要変更点

	前回 (令和4年6月)	今回 (令和4年9月)	
景況判断	持ち直しに足踏みがみられる	緩やかに持ち直している	
鉱工業生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	このところ持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

4-6月期の鉱工業生産は、「輸送機械」や「汎・生産・業務用機械」が増加したこと等により、前期比1.3%増となった。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。南関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び南関東の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。
 3. 南関東は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1-3 月期	4-6 月期	4月	5月	6月
石油・石炭、化学、プラスチック	22.2	▲2.9	▲2.3	▲0.2	▲2.6	0.8
輸送機械	14.1	▲5.9	7.4	▲0.8	▲6.2	22.3
汎・生産・業務用機械	13.7	▲0.6	3.4	2.5	▲2.6	5.1
電子デバイス、電気・情報通信	12.6	▲2.5	▲0.8	5.8	▲14.4	20.4
食品・たばこ	12.4	▲1.6	—	▲3.0	2.0	—
鉱工業	100.0	▲2.3	1.3	0.8	▲3.8	7.5

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 4-6月期、6月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの、食品・たばこは公表されていない。
 3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

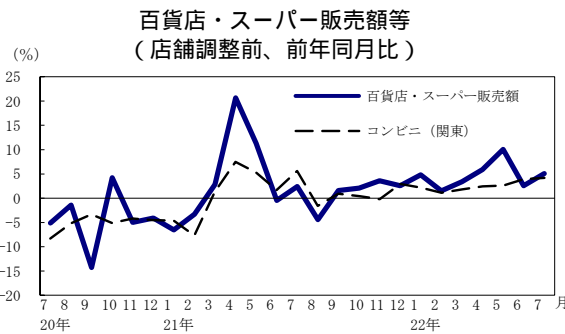
個人消費は緩やかに持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4-6月期は前期比1.2%増となった。月別にみると、4月は前月比1.0%減、5月は同3.0%増、6月は同1.6%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、4-6月期は前年同期比6.1%増となった。月別にみると、4月は前年同月比5.9%増、5月は同10.1%増、6月は同2.6%増となった。



	2022年4-6月	2022年4月	5月	6月	7月
RDEI (消費*1)	1.2	▲1.0	3.0	▲1.6	—
百貨店・スーパー(*2)	6.1	5.9	10.1	2.6	5.1
コンビニ(*3)	3.0	2.4	2.6	3.9	4.2
乗用車(*4)	▲16.1	▲14.5	▲21.0	▲13.3	▲10.5
(季節調整値) (*4)	▲5.0	▲1.3	▲12.2	7.7	4.0

(備考) 1. 季節調整前(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

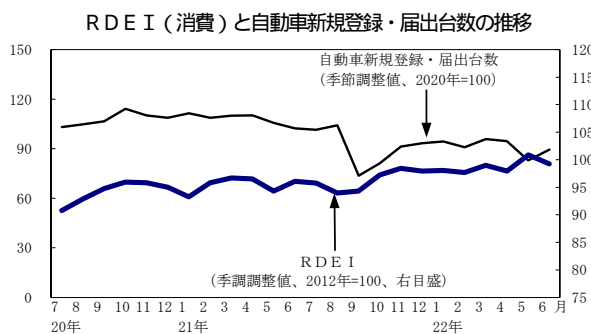
2022年7月は速報値。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

2022年7月は速報値。

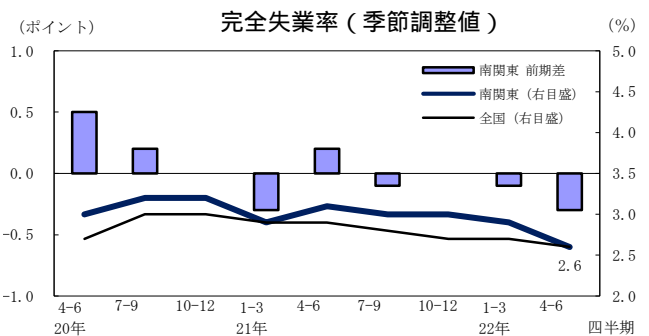
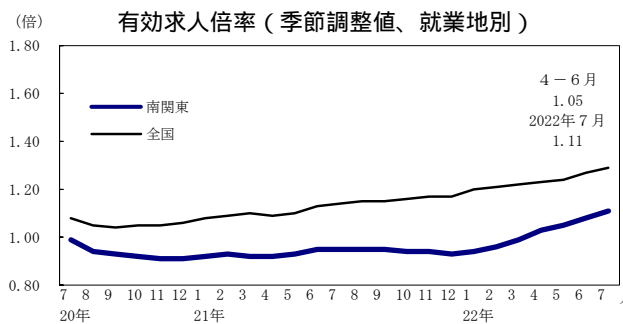
4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和4年8月調査）景気判断理由の概要

4. 南関東

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野	判断	判断の理由		
		判断	理由	
現状	家計 動向 関連	□	・値下げ商材の意識的な購入が従来と比較して増えてきている。今までは賞味期限切れ等による廃棄も多少はあったが、廃棄額の減少と値引額の増大が傾向として見えている（スーパー）。	
		▲	・昨今の物価高の影響で、余暇、レジャー、趣味に対する消費力が弱まっていると感じる。客との会話や様子からそのような印象を受けている（通信会社）。	
		○	・8月中は気温が高く、行動制限もないため、前年、前々年と比較しても、売上状況が良い（コンビニ）。	
	企業 動向 関連	□	・原材料の値上げが続いていることから動きが非常に悪くなっているようなので、大きな変化はない（プラスチック製品製造業）。	
		▲	・材料価格の高騰により単価が上がり、予算に合わなくなっている案件が多くなっている（建設業）。	
		○	・印鑑、ゴム印、名刺印刷の仕事をしている。実店舗での仕事と、法人への納品の仕事がある。5～7月にかけては毎月1本くらいしかなかった法人の設立印の注文が、今月は3件あった。乗用車販売店と工務店、そして病院業務の会社である。少し法人関係が動いている（出版・印刷・同関連産業）。	
	雇用 関連	□	・新規求人数は、飲食業のパート求人が大幅に減少した一方で、タクシー乗務員など旅客運送業の求人が増加している。新型コロナウイルス感染症が拡大するなかで、密回避の移動手段としての需要が背景にあるものと推察される（職業安定所）。	
		○	・求人対象が国内外等、幅広くなっている。求人企業の選択幅が広がっている（民間職業紹介機関）。	
	その他の特徴 コメント		□：新型コロナウイルスの感染第7波が続いているものの、行動制限のない夏休みを迎え、来客数が落ちることなく店頭のにぎわいが続いている（百貨店）。 □：会社の宴会はほとんどないに等しかったが、家族での会食などの予約がかなり入っていたので、悪いとは言い切れない（一般レストラン）。	
	先行き	家計 動向 関連	□	・通常、秋は衣料品の需要が多い時期だが、残暑、新型コロナウイルス感染症、物価高の影響で先が見えてこない（衣料品専門店）。
○			・新型コロナウイルス感染症に伴う移動に関する規制や、外国人の受入態勢の緩和も検討されているので、それらが実行されれば予約や来客数も増えてくるのではないかと（旅行代理店）。	
企業 動向 関連		□	・取引先の話では、材料の品不足がまだ続いているため、仕事量が元に戻らず、少ない（化学工業）。	
		▲	・多くの品が値上がりしてきており、今後も値上がりする品が増えてくるので、先行きの悪化が懸念される（輸送業）。	
雇用 関連		□	・長期就業を前提とした派遣求人数は、安定して前年同月比2けた増加となっており、トレンドも安定していることから、当面この傾向は継続することが予想される（人材派遣会社）。	
その他の特徴 コメント		○：新型コロナウイルスの感染拡大に陰りを感じるのので、3か月後は大丈夫だろうという感覚がある（ゴルフ場）。 ▲：毎月、商材の価格が上がっているのので、趣味の品等で買い控えが懸念される（家電量販店）。		

(D I) 現状・先行き判断D I（南関東）の推移（季節調整値）

